

サンウエーブ サンファニ・ティオ・ツー 取扱説明書

このたびはサンファニ・ティオ・ツーをお買いあげいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。 (K)

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

目次 contents

1	各部の名称	1	安全
2	特に注意していただきたいこと	2	
3	ワークトップまわり	3	使い方・お手入れ
	・使用上のお願い		
4	シンクまわり	5	
	・使い方		
5	フロアキャビネット/ウォールキャビネット	6	
	・使用上のお願い		
6	お手入れ方法とお願い	9	
	・お手入れ方法 ・お手入れ上のお願い		
7	故障・修理について	11	サービス
	・トップ、シンク、キャビネット		
8	アフターサービスについて	12	
	・点検、修理の申し込み方法 ・保証とサービス部品・お客メモ		



Sunfurni Tio II
Sunwave Component Kitchen

■アフターサービスのお問い合わせ

修理のご依頼・サービス部品のご用命は下記のサンウエーブお客さまセンター「修理受付ダイヤル」までお願い致します。

☎ 0120-0000-72

※IP電話等でつながない場合は、お入れ入りますがTEL 03-5280-8757にお掛けください。

■受付時間

月～金：9:00～20:00 土日祝：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

■商品についてのお問い合わせ

お近くのショールームまたは下記のサンウエーブお客さまセンター「お客さまダイヤル」までお願い致します。

☎ 0120-1905-21

※IP電話等でつながない場合は、お入れ入りますがTEL 03-5280-8760にお掛けください。

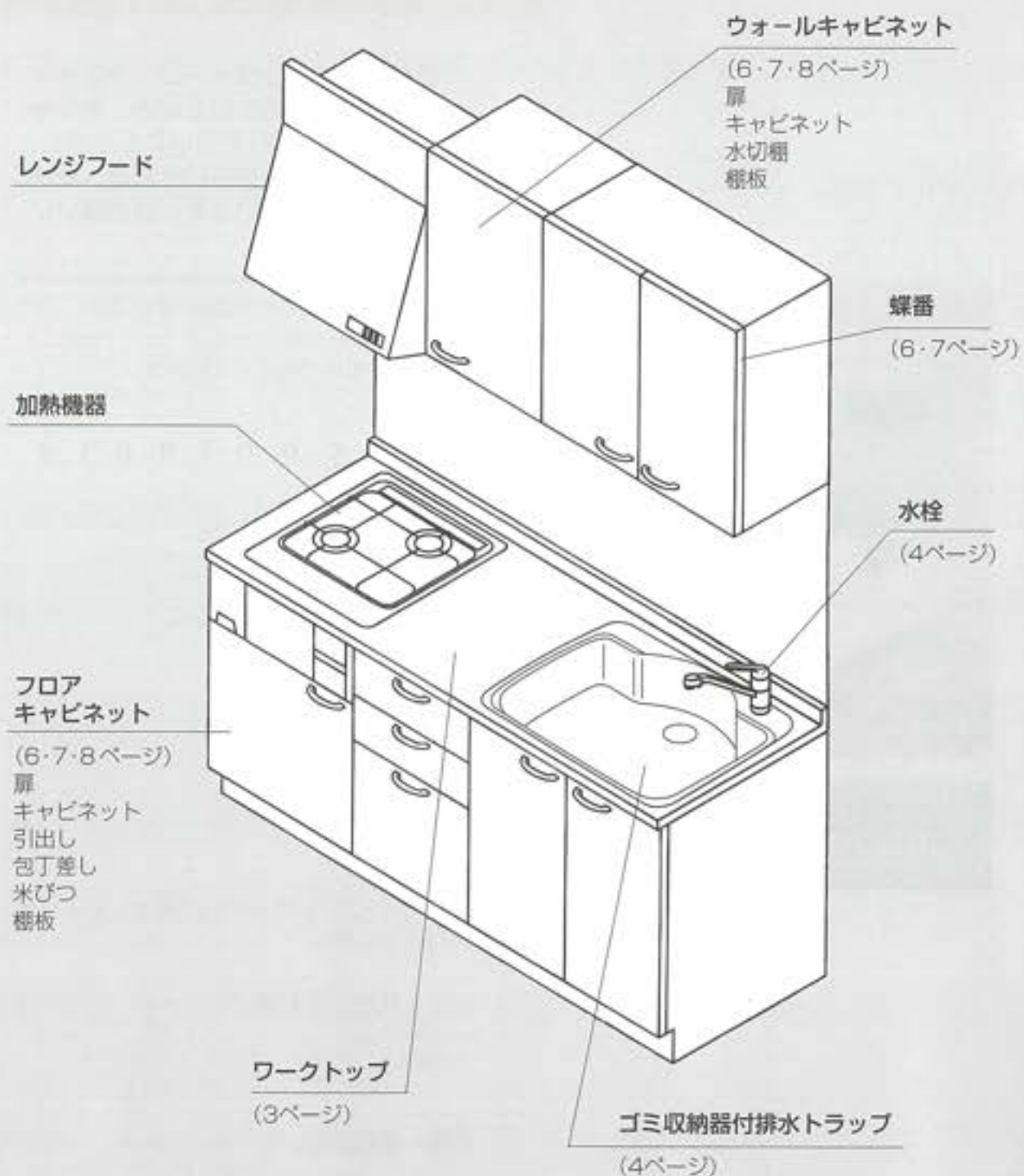
■受付時間 月～日：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

○お客さまセンター 東京都千代田区猿樂町2-6-10 FAX 03-5280-8718
(2007年12月1日現在)

※上記の内容は、予告なく変更することがあります。

生活ごこちを。カタチにします
sunwave
サンウエーブ工業株式会社
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-10
TEL 03 (3518) 4311 (大代表)

●コンパートメントキッチン



加熱機器、レンジフード、足元温風機、水栓、米びつなどについては、専用の取扱説明書をご利用ください。この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買いあげいただいた販売店か、サンウエーブお客さまセンター「お客さまダイヤル」までご連絡ください。

この安全上の注意をお読みの上、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害にむすびつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

 **注意**

この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。



この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

 **注意**

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のネジをしめなおしてください。
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
※蝶番の調整方法：6 ページ参照



扉や、取手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください。
扉や、取手がはずれて、ケガをする恐れがあります。



熱湯や、てんぷら油を直接排水口に流さないでください。
排水装置が変形したり、排水パイプに穴があいて、水もれの原因になります。



加熱機器の使用時、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれないでください。
加熱機器周辺の表面温度が高くなっているため、ヤケドをする恐れがあります。



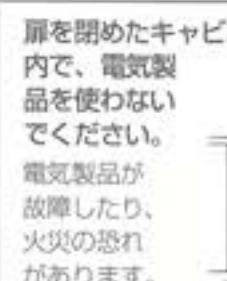
混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出してください。
水栓及び熱湯で、ヤケドをする恐れがあります。
特に、小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。



キャビネットやテーブル・カウンターなどの角に頭をぶつけないようご注意ください。
思いがけないケガをする恐れがあります。



コンセントに水をかけないでください。
漏電やショートしたり火災の恐れがあります。



扉を閉めたキャビネット内で、電気製品を使わないでください。
電気製品が故障したり、火災の恐れがあります。



扉・エンドパネルに濡れた布巾等を掛けしないでください。
扉やエンドパネルに水が掛かったらすみやかに拭きとってください。
長時間濡れたまま放置するとふくれたり、剥がれる恐れがあります。



お願い

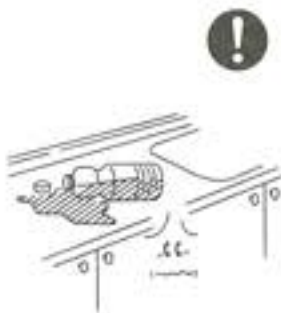
キッチン本体以外の機器等(1 ページ下段)には専用の取扱い説明書があります。必ずお読みください。
お手入れに使用する洗剤、薬剤は取扱説明書や容器等の注意事項、禁止事項を必ずお読みください。



ワークトップ、シンクの使用上のお願い

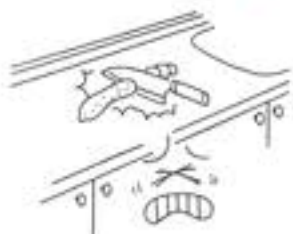
●汚れはすぐ洗い流してください。

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れはすぐに洗い流してください。たまった水はふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップやシンクの変色の原因になります。ステンレスの場合はサビの原因になります。



●包丁などを直接使用しないでください。

包丁やナイフなどの刃物を、ワークトップに直接あてると表面が傷つきます。



●なべなどを引きずらないでください。

ワークトップの上でなべや大皿などを引きずると、表面に傷がつきますので避けてください。



●ぬれた鉄製品の放置禁止。

ぬれた包丁や缶詰、ヘアピンなどをワークトップやシンクに放置しないでください。サビが移る（もらいサビ）ことがあります。



●人造大理石トップには、熱いものを置かないでください。

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコをトップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは、熱によって変色する恐れがあります。



●高温の油や熱湯を流さないでください。

煮立った揚げ油などを直接シンクに流すと、パッキンや排水ホースの寿命を縮めます。自然環境を守る意味からも絶対に避けてください。



●衝撃を与えないでください。

ナベなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面が傷つきます。



●オーバーフロー付きシンクの場合、下記の点に注意してください。

- ①連続で吐水する時は、オーバーフローより水面が上がらないように水量を調整してください。
 - ②オーバーフロー周辺に吐水を近づけると流れにくくなります。吐水はシンク中央にしてください。
- 水あふれによりキャビネットやフロアを傷める恐れがあります。



ご不審な点や故障のおきた際には、お買いあげいただいた販売店か、サンウエーブお客さまセンター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。

1 点検・修理の申し込み方法

- 不具合がありましたら、本説明書の点検・修理のページ（11ページ）をご覧ください。一度調整をしてみてください。
- 点検をしても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買いあげいただいた販売店か、サンウエーブお客さまセンター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。

■お申し込みの際は次のことをお知らせください。

1. 品名	サンファニー・ティオ・ツー
2. 品番	品番と製造番号も合わせてお知らせください。 (裏面に貼付している「検査証」に記載されています) <例>
3. 状態	不具合の状態をできるだけ詳しくお知らせください。
4. 道順	ご自分の住所、電話番号、付近の目印をお願いします。
5. 日時	訪問ご希望日と時間をお願いします。

＜個人情報の取り扱いについて＞

- お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために利用させていただきます。ご了承ください。
- 修理やその確認業務を当社の関係会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提出いたしません。

お客さまメモ 後日のため記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	年	月	日
購入店名	電話(-)		

2 保証について

当製品はお引渡しの日から一年間無料修理いたします。
(但し、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費は有料となります。)

保証期間中でも次の場合は有料修理といたします。

- 取扱説明書および注意ラベルによらない使用や維持管理を行わなかったことによる故障および損傷。
- 住宅用途以外で使用情况や引き渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- 不当な修理や分解、改造による故障および損傷。
- 火災、天災、地震、その他の不可抗力による故障および損傷。
- 建築躯体の強度不足、ゆがみ、劣化、その他本製品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- 塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等に生じる外観上の変化および消耗品の消耗に起因する不具合。
- 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
- 電気製品などの個々の機器に保証書のあるものは、各機器の保証書に従ってください。

3 サービス部品(補修用性能部品)について

- サービス部品の御用命は、サンウエーブお客さまセンター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。
- ※電気製品などの補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をごらんください。

4 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

故障・修理について

製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していると多少の不具合が出る場合があります。その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ、シンク、扉

- ステンレス・人造大理石トップ、また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。お早めにお買いあげいただいた販売店か、サンウェイお客様センター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。



- シンクの排水が詰まったり、流れにくくなったときは、ワンを外して掃除してください。詳しくは4ページのゴミ収納器付排水トラップの項目をお読みください。



ワンは左に回すと外れます。

- 水栓レバーは、長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障ではなく水垢などによるグリースの消耗が原因です。お買いあげいただいた販売店か、サンウェイお客様センター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。



キャビネット、引出し

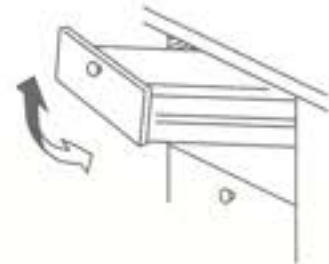
- 扉がガタつく

扉の吊り元の蝶番がゆるんでいませんか？ゆるんでいたらネジを締め直してください。扉が前後左右にずれているときはネジ調整が必要です。扉の調整の説明(6・7ページ)をよく読んでください。



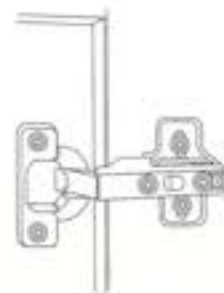
- 引出しの動きが悪い

引出しがはずれていませんか？いったんキャビネットから引出しをはずして、もう一度入れ直してください。引出しのはずし方の説明(7ページ)をよく読んでください。



- 扉がはずれた

扉の吊り元の蝶番がはずれていませんか？扉の取外し説明(6・7ページ)をよく読んでください。



本製品のホルムアルデヒド発散区分

表 示 内 容	
1 商品名	コンポーネントキッチン〈サンフアーニ・ティオ・ツー〉
2 製造企業名	サンウェイ工業株式会社
3 ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
4 表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」に基づくキッチン・バス工業会表示指針による
5 製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください
6 ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
7 本表示に対するお問合せ先	HP http://www.sunwave.co.jp 0120-190521

ゴミ収納器付排水トラップ使用上のお願い

- 構造図です



- ゴミはこまめに捨ててください。

下水からの悪臭を防ぐ機構になっていますが、ゴミをためすぎると臭気のもとになります。水の流れも悪くなりますので、ゴミはこまめに捨ててください。



- 臭気防止とワンの取外し

排水の流れが悪くなったからワンを外して、掃除をしてください。それでも流れが悪い場合は、排水パイプ用の薬剤を使用してください。薬剤を使用する際は薬剤専用の説明書をよく読んでからお使いください。

ワンは左に回すとはずれます。

- 水が凍ってしまったら

冬期や寒冷地で、トラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、ゴミカゴの下のワンを取りはずしておいてください。



水栓の使い方 専用の取扱説明書を必ずお読みください。

- ワンレバー水栓

- 水量の調整

レバーハンドルを上げると水が出、下げると水が止まります。水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

- 温度の調整

レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

- レバーハンドルの操作

ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。



水栓の使用上のお願い 専用の取扱説明書を必ずお読みください。

△注意

- レバーハンドルを湯側にして吐水すると熱い湯が出てヤケドする危険があります。水栓本体も熱くなるのでご注意ください。



- 吐出口キャップがつまると水量が少なくなったりします。時々キャップをはずし、網につまったゴミを取り除いてください。



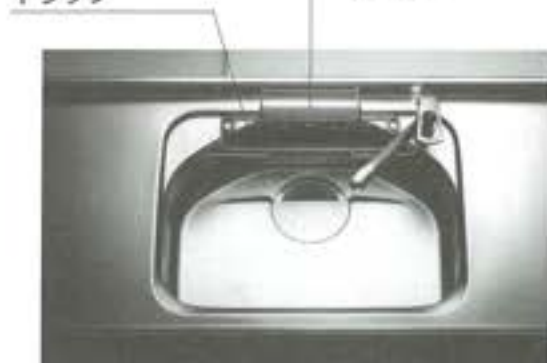
4 シンクまわり

ラウンドシンクとシンクサポート

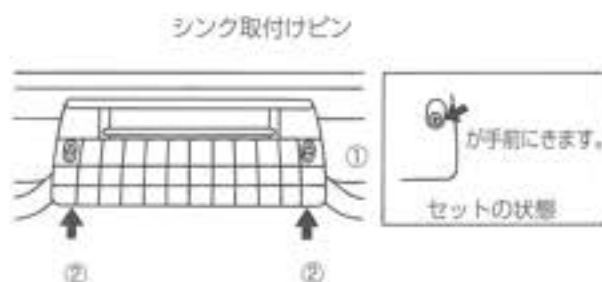
使い方

- ラウンドシンクは工夫して上手にお使いください。
ラウンドシンク

洗剤ポケット(オプション)
スポンジや洗剤を収納したり、
濡れたままのまな板の仮置が
できます。



- 洗剤ポケットは、必ずシンクの所定位置にきっちりセットしてお使いください。
セット方法
①の穴にシンク取付けピンが見えるようにセットしてください。
②の方向にカチッと音がするまで押してください。
取外しは、逆の操作をしてください。



水びたしになりがちだったシンクまわり、そんなこともなくなります



排水口に段差をつけているので、洗い物が多くてもふさがることなく、スムーズに水が流れます。



シンクの周囲には水滴がたまりにくいテーパーをつけています。

調理面をさらに広く、水じまいも万全です

シンクの上にぴったり収まる水切りトレーで調理スペースが広がります。
※水切りトレーはオプションです。



洗剤ポケットは外して水洗いができます。濡れたまな板を収納できる水切スタンド付きです。
※洗剤ポケットはオプションです。後付対応はできません。



お手入れ上のお願い

■金属タワシの使用禁止 (ステンレスシンク・トップ)

金属タワシ、ナイロンタワシ・粒子のあらいクレンザー類をトップやシンクのお手入れに使用しないでください。トップ面が傷つく恐れがあります。



■漂白剤、硫酸、アセトン等の使用禁止 (人造大理石トップ)

人造大理石トップには、漂白剤や硫酸、塩酸などの酸類や、アセトン、シンナー、ペイント除去液などの溶剤は絶対に使用しないでください。トップ面が変色・変質する恐れがあります。



■漂白剤、硫酸、塩酸の使用禁止 (ステンレスシンク・トップ)

ステンレストップやシンクのお手入れに漂白剤や硫酸、塩酸などの酸類は絶対に使用しないでください。サビや変色の恐れがあります。



■扉

家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色や光沢をなくしたりして、扉の表面を痛めます。



■ヌメリ取り剤の使用禁止

市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスが錆びる場合があります。使用しないでください。



お手入れ方法

■ステンレストップ、シンク

- 布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
- トップやシンクに残った洗剤を固く絞った布でふきとってください。
- ひどい汚れや落ちにくい汚れは台所用液体クレンザー（ジフ等）をつけて磨いてください。



■人造大理石トップ

- 水や湯を含んだ布またはスポンジでこまめにふいてください。週に一度くらい台所用洗剤を含ませた布でふきとると、油性の汚れなどが落ちます。
- トップに残った洗剤は固く絞った布でふきとってください。
- ひどい汚れや落ちにくい汚れはナイロン不織布（スコッチブライト等）で正しい方法に磨いてください。



■ゴミ収納器付排水トラップ

ゴミカゴやフタ・排水カップ・ワンはこまめにお湯か中性洗剤で洗ってください。

ワンは左に回すとはずれます。



■水栓

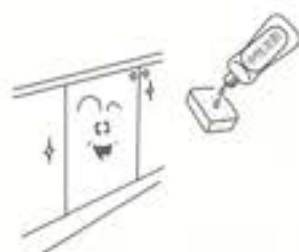
洗剤や水アカがついて汚れてきますので、乾いた柔らかい布でふいてください。その際、みがき粉や粒子の粗いクレンザー、陶器用の酸性洗剤は使用しないでください。メッキ面を傷つけたり、浸食する恐れがあります。

■扉

通常のお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は、布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

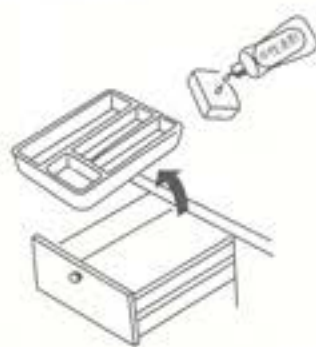
■キャビネット

キャビネットの汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。



■引出し

引出しは汚れが溜りやすい所です。ときどき取外して布やスポンジに中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



扉 使用上のお願い

●扉にぶらさがらないこと

⚠ 注意

扉にぶら下がったりしないでください。蝶番やレールがこわれると扉が落下してケガをする恐れがあります。特に、お子さまにはご注意ください。

●扉はやさしく開閉してください

扉は軽く開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁に当たらないよう気をつけてください。扉や取手に傷が付きやすくなります。

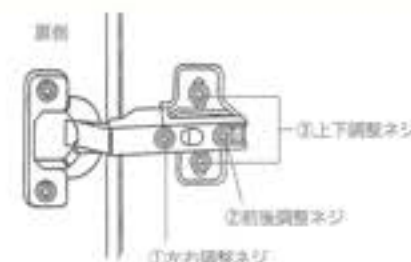
●扉にテープを貼らないでください

扉にセロテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。

蝶番及び扉、棚板、引出しの調整方法

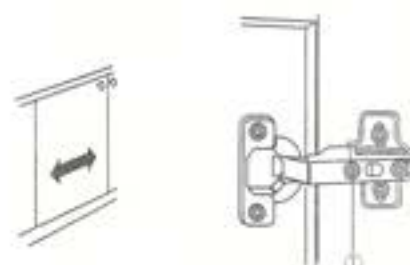
●蝶番の調整

扉は左右や前後のズレがないように取付けています。お客さまに調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は蝶番の①②③のネジで行ってください。
※ 1・2のネジをゆるめすぎると扉がはずれることがありますのでご注意ください。



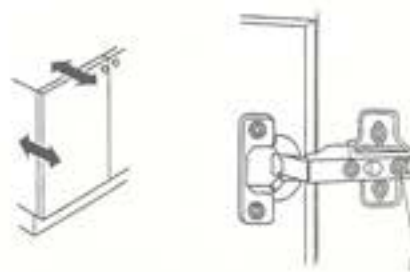
●左右調整したいとき

①のネジを左にまわすと蝶番側に移動し、右にまわすと蝶番と反対側に移動します。



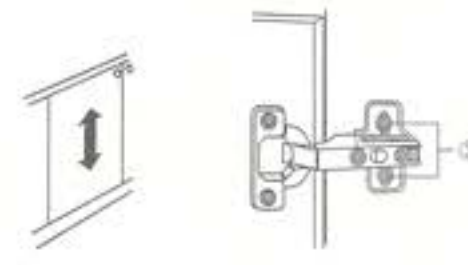
●前後調整したいとき

前後の傾きは②のネジで調整できます。



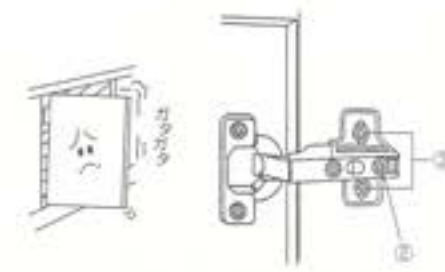
●上下調整したいとき

上下に扉が片寄っている場合は③のネジをゆるめて座金の位置を調整します。（上下2本の蝶番を調整してください）



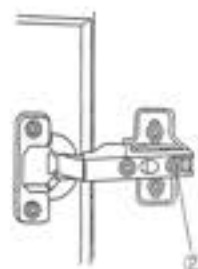
●扉にガタツキが発生した場合

②・③のネジを右側に回して固く締めつけます。



●扉の取外し

②の前後調整ネジをゆるめます。
取り外される際は扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットを傷つけないよう気をつけてください。



●棚板の動かし方

棚板は可動式となっております。
棚板をはずし、棚受をお好みの位置に移動してください。棚受けは隙間のないよう奥まで差し込んでください。



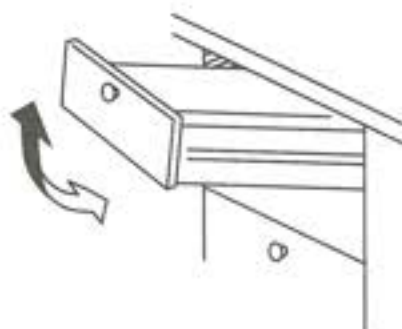
●調整後の確認

扉調整後は、全ての蝶番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。



●引出しのはずし方

完全に引出し、持上げ、そのまま引出してはずします。取付けは取外しの逆の操作をしてください。



キャビネット 使用上のお願い

●引出しに乘らない

⚠ 注意

引出しを踏み台代わりに使ったり、子供が乗って遊んだりすると落下し、ケガする危険があります。絶対に乗らないでください。



●棚板、キャビネットの耐荷重

棚板の最大積載荷重は 20 kg です。ウォールキャビネットの最大積載荷重は 60 kg です。のせすぎたり、重たい物を一カ所に集中させないで平均してのせてください。棚板やキャビネットが変形する恐れがあります。重たいもの、倒れやすいものは下に置いてください。ウォールキャビネットの最大積載荷重は棚板の最大積載荷重と併せて守ってください。

▼ 重量の目安		
皿	直径35cm	約1.0kg
皿	直径25cm	約0.5kg
皿	直径16cm	約0.2kg
フライパン	直径25cm	約1.0kg



扉キャッチ付キャビネット 使い方

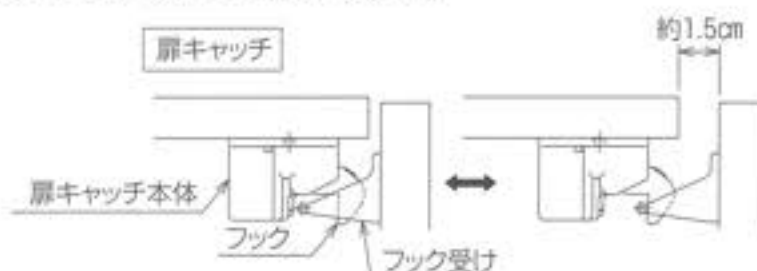
扉キャッチは地震が発生しキャッチ本体が揺れを感知するとフックが下がった状態で固定され、キャビネット内部の収納物が落下するのを防止します。

●通常の使用（扉の開閉）においては扉キャッチは作動せずロックはかかりません。

●ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは解除されます。

●扉の開閉は、力を入れずやさしく行ってください。

●扉キャッチ機能は、建物の構造や階数によって、性能を十分に発揮しない場合があります。



使用上のお願い

■包丁差し

⚠ 注意-落下

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、中に収まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをする恐れがあります。出すときもまっすぐに引出してください。刃の長い包丁は、包丁差しより下に刃先が出る場合があります。十分注意してください。

■照明付吊戸棚

⚠ 注意-感電

●照明器具には水がかからないようにしてください。濡れた手で触ると感電する恐れがあります。

●蛍光灯の交換

照明カバーは、手前の化粧ネジをはずすととれます。新しい蛍光灯（20 W）を取付けて元通り照明カバーをつけてください。

■水切棚

シンクの上に設置した水切棚に濡れた食品を置くときは、すべて落ちないように気をつけてください。また重いもの、壊れやすいものは乗せないでください。最大積載荷重は 7.5kg です。重量の目安は、上段の棚板の項を参照してください。

■米びつ 専用の取扱説明書必読

●お米は早めに補給してください。ときどき中を開けて天日通風するなど、清潔な状態でお使いください。ご使用方法、お手入れは専用の取扱説明書をご覧ください。

■扉キャッチ付キャビネット

⚠ 注意

●頭をぶつけない。

思いがけないケガをするおそれがあります。



●扉キャッチ付キャビネットの下で、水蒸気のでる電気製品を使わない。

水蒸気が当たると性能を十分に発揮しないおそれがあります。



●取外したり、分解しない。

取外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。



●不安定な積み重ねや、詰め込みすぎはしない。

微妙な揺れで倒れることがあります。また、倒れた状態で扉をあけると物が落下することがあります。



●手前に小物を収納しない。

扉はロックが掛かって約 1.5 cm 程度開きますので、落下するおそれがあります。



●扉キャッチ本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

